

地からの獣（黙示録 13:11-18）

小羊のような二本の角（13:11）：
イエス様に似ているが、イエス様で
はない別の獣を示している。
角：力や国の象徴（ダニ 8:21 等）

地（13:11）：

水＝民族、群衆、国民、国語（ダニ
7:2; イザ 17:12, 13; 黙 17:15)な
ので地からの獣は「人々が住んでい
ないところ」からあらわれたこと
を示している。

龍のように物を言った（13:11）：
嘘偽りを語るサタンの代弁者
龍＝サタン（黙 12:9）
嘘と偽り（テサ 112:9-11）



地からの獣がアメリカだという3つの理由

セブンスデーアドベンチスト(SDA)は、黙示録13章に書かれている地からの獣はアメリカのことを預言しているといいます。なぜ、アメリカだという確信を持つことができるのでしょうか？3つの理由に注目してみたいと思います。

1. 人が住んでいないところから生まれた国

- 海からの獣

- ローマ教皇権 (ダニ 7:17,23; “地からの獣”参照)
- 「天の四方からの風が大海をかきたてると…(ダニ 7:2)」4匹の獣が海からあがってきたとダニエル書には書いてあります。これは、様々な国(イザ 17:12,13; 黙 17:15)が権力を握るために起こした争いの光景です。
- この獣には1260年(ダニ 7:25; 黙 12:14; 13:5)の間活動する権威が与えられました。
- そして1260年の後、この獣は死ぬほどの傷を受けました。
 - ◇ 538年に東ゴート王国に勝利をおさめたローマは1798年にナポレオン・ボナパルトの参謀長であるベルティエ元帥に捕まるまで、ローマ教皇権によって現ヨーロッパを支配しました。
 - ◇ 1798年はまさに、この獣が死ぬほどの傷を受けたときでした。

2. 海からの獣が受けた死ぬほどの傷がなおったところに現れた国

- 1798年ごろに生まれた国とはまさにアメリカのことです。
 - 1776年7月4日：イギリスの統治下にあった北米の13の植民地が独立宣言をしました。
 - 1787年5月：アメリカ合衆国憲法制定会議開催がジョージ・ワシントンにより宣言され、同年9月に署名されました。
 - 1791年：信教、言論、出版、集会、結社の自由など基本的人権を規定した権利章典(Bill of Rights)をアメリカ合衆国憲法に加える修正がされました。
 - 1798年：世界的にアメリカという国の存在が認められるようになりました。
- このように、アメリカは建国のために他の国と戦わず、どの国にも占有されていない地に徐々に起こったのです。

3. 小羊のような二本の角を持つ国

- 角 = 国、力 (ダニ 8:21)
- 二本の角
 - 先の獣と違って冠を持たないことに注目しましょう。これは王のいない権力をあらわします。
 - ◇ 王のいない政治 (Republicanism) = 市民の自由
 - ◇ 王のいない宗教 (Protestantism) = 宗教の自由
 - アメリカと、先の獣そして他の国々との違いは、政治の介入なしに宗教を持つことができることでした。それはまさに、純粋で小羊のように見えたことでしょう。しかし、国家の方針の中心だった基本的人権はこれから失われていくのです。(黙 13:12-17)